

# 第2次中期基本計画

(平成28年度～平成32年度)

公益社団法人伊勢原市シルバー人材センター  
平成28年5月

## 目 次

I	計画策定の趣旨	1
II	計画の目的	1
III	計画の期間	1
IV	基本目標	1
V	計画の推進	1
VI	基本計画	1
1	会員の増強	1
2	就業開拓の強化	2
3	就業の公平化・適正化	2
4	安全就業の徹底	3
5	組織体制の強化	3
6	財政基盤の安定化	3
7	会員の交流・親睦活動の活性化	4
VII	将来推計（目標）グラフ	5

## I 計画策定の趣旨

公益社団法人伊勢原市シルバー人材センター（以下「センター」という。）は、平成9年10月に設立されてから19年が経過し、平成29年10月には設立20周年を迎えます。

また、平成24年4月には公益社団法人に移行し、超高齢社会に対する役割と責任はより重要になりました。そうした中において、当センターは高齢者の生きがい対策として、第1次中期基本計画に基づき事業を運営してまいりました。

国においては、高齢者が支えられる側から支える側へと移行する必要が指摘されています。伊勢原市では平成32年には4人に1人が高齢者になると予測されているなか、高齢者自身が働くことを通じて、知識と経験を生かせるシルバー人材センターは、地域社会の「支え手」となることが期待されています。

引き続き「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、就業を通じた高年齢者の社会参加の促進と共に地域ニーズの担い手としてその役割を果たしていくため、今般策定した中期計画に沿った取り組みを行ってまいります。

## II 計画の目的

これまで培った実績を確たるものとし、さらなる飛躍を目指し今後の方針を立てるものです。センターが進むべき方向性を明確にし、今後の運営及び事業展開の基本方針とすることを目的とします。

## III 計画の期間

平成28年度から平成32年度までの5ヶ年を本計画の期間とします。

## IV 基本目標

平成32年度末までの基本目標数値を次のように設定します。

- |          |          |
|----------|----------|
| (1) 会員数  | 1,000人   |
| (2) 粗入会率 | 3.5%     |
| (3) 就業率  | 80%以上    |
| (4) 契約金額 | 3億1500万円 |

## V 計画の推進

「中期基本計画」は、センター事業を進めるための基本方針を示したものであり、この中の「目標数値」および「基本計画」の内容に従って年度毎の事業実施計画の中において具体的方法を検討し、計画的かつ着実に実行に移していきます。

各年度には、計画に対する達成状況を評価・検証し、未達成が明らかになった時は、以後の実施計画内で見直しや軌道修正を行い、目標達成を目指します。

## VI 基本計画

### 1 会員の増強

#### (1) 現状と課題

団塊世代の入会希望者の増加が予想されましたが、定年制の延長、再雇用制度等により入会希望者は横ばい状態にあります。

女性会員については、会員数及び比率が徐々に増加傾向にあるものの、全国平均に比べまだまだ低い状態にあります。高齢者単身世帯の増加に伴い、一般家庭での家事援助サービスの需要が高まることから、女性会員の増強を図りながら地域ニーズに応えることが必要と考えられます。

センターは高齢者が培ってきた技能を引き続き地域社会で生かすための有効な拠点であるため、新規会員の勧誘を図りながら組織の強化に努めることが重要です。

## (2) 基本計画

- ・働く意欲が高く、有能な人材の受け入れを促進します。
- ・就業開拓委員会と連携し、女性に適した就業の拡充・開拓をすすめ、会報や口コミ等を通じて女性会員の加入促進を図ります。
- ・ワークシェアリングやローテーション就業を徹底し、未就業会員の対策強化を行い、退会の抑制を図ります。

## 2 就業開拓の強化

### (1) 現状と課題

会員数の増加に対し、就業先の新規開拓が必要です。経済環境や社会環境を分析し、ニーズの高まりのある作業分野の開拓を進めます。

超高齢社会の進展を背景に、一般家庭での家事援助サービス等の需要が高まるものと見込まれるため、広くセンターをPRしていく必要があります。

また、平成32年に完成する予定の成瀬第2地区土地区画整理事業による新たな工業団地の企業や事業所に対して積極的な受注活動が求められます。

### (2) 基本計画

- ・就業開拓委員会を中心に企業や事業所の新規受注拡大を図るほか、就業においてもニーズに応えられるよう日々啓発に努めるなど、就業開拓に努めます。
- ・受注分野の実績等の分析を行い、需要が見込まれる作業の強化を行います。
- ・会員全員にご近所や友人知人にセンターを紹介してもらい、口コミによる受注拡大を図ります。
- ・主に企業や事業所に対しシルバー派遣事業のPRを行い、派遣による就業拡大を図ります。
- ・直接雇用を希望する会員や求職者のニーズに応えられるよう有料職業紹介事業を実施します。
- ・地域支援事業としての総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）の実施を見込み、市や関係機関と緊密な連携を図り、特に女性会員が就業可能な職域の拡大に努めます。

## 3 就業の公平化・適正化

### (1) 現状と課題

会員の就業率はここ数年70%前後で推移しており、更なる就業機会の提供が必要となります。

多くの健康で働く意欲のある会員の「生きがいづくり」と「社会参加の実現」のため、公平かつ均等な就業機会の提供が必要であり、会員の多様化する働き方のニーズに対するきめ細かで丁寧な対応が求められます。

## (2) 基本計画

- ・ワークシェアリングは軌道に乗ってきましたが、民間関連業務についても更なる適用拡大を図ります。
- ・未就業者アンケートは就業対策の基礎データとして活用するため引き続き実施します。
- ・加齢等の理由により就業は希望せず、会員同士の交流・親睦及びボランティア活動等に参加したいために留まる会員の位置づけについて検討します。

## 4 安全就業の徹底

### (1) 現状と課題

事故の発生は、会員自身の健康を損ない豊かな暮らしを奪うほか、器物や財物の破損はセンター全体の信頼を損なうことにつながります。

会員が心身ともに健康で生きがいのある生活の保持と、発注者から信頼されるセンターの構築に全体で取り組む必要があります。

### (2) 基本計画

- ・事故の発生原因を検証し、安全対策を講じ再発防止に努めます。
- ・安全管理委員会を中心に、作業現場の安全パトロールを定期的を実施します。
- ・草刈り作業時の飛石事故や植木剪定作業時の転落事故など、発生率の高い案件について「安全対策確認書」等において作業前の安全確認を徹底します。
- ・定期健康診断の啓発、健康講習会等を実施して健康への関心を高めます。

## 5 組織体制の強化

### (1) 現状と課題

センターの自主・自立の精神に則り、正会員の委員で構成する安全管理・企画調整・広報・就業開拓の4つの委員会を設置し、活発な事業活動を展開し、実績を上げてまいりました。

発注者や会員のニーズに的確かつ柔軟に対応できる運営組織が必要であり、また、技能集団である植木班や除草班、リサイクル班等の後継者育成が急務となります。

### (2) 基本計画

- ・委員会活動をより活発化することにより、センターの更なる発展を図ります。
- ・女性会員を役員及び委員会委員に積極的に登用し、組織の活性化を図ります。
- ・需要の伸びが期待できる家事援助サービスや植木班、除草班、リサイクル班等の職種における体制強化策として、グループ化の早期実現を目指します。
- ・シルバー派遣事業の推進に伴い増加する事務に対応するため、事務局職員体制の整備を図ります。

## 6 財政基盤の安定化

### (1) 現状と課題

公益社団法人は「収支相償」により、利益追求ではなく、収支均衡を基本として運営をしております。センターの財源は国や市の補助金収入のほか、事務費収入、会費収入が主なものですが、今後収入の大幅な増加は見込めないことから事務の合理化等による一層の経費の節減を図り、計画的な財政運営の確保が求められます。

また、国において平成29年に消費税の引き上げが予定されており、センターの負担額もそれに伴い増加していくこととなります。平成27年度から会費の値上げを実施しましたが、事業運営を積極的に展開し、センターのより一層の発展を期するためには、更なる財政基盤の安定化が重要課題となります。

## (2) 基本計画

- ・受注量拡大が財政安定化の基盤となる為、需要開拓の活動資金として自主財源を確保する対策を検討します。
- ・シルバー派遣事業を積極的に推進し、派遣手数料の確保を目指します。
- ・最低賃金や他市の状況及び市場を調査したうえで適正な単価の設定し、会員の不利益が生じないようにするとともに、事務費収入の確保を目指します。
- ・効率的な事務処理方法の確立とともに、更なる経費節減に努め、限られた財源を有効に活用する方法を検討します。

## 7 会員の交流・親睦活動の活性化

### (1) 現状と課題

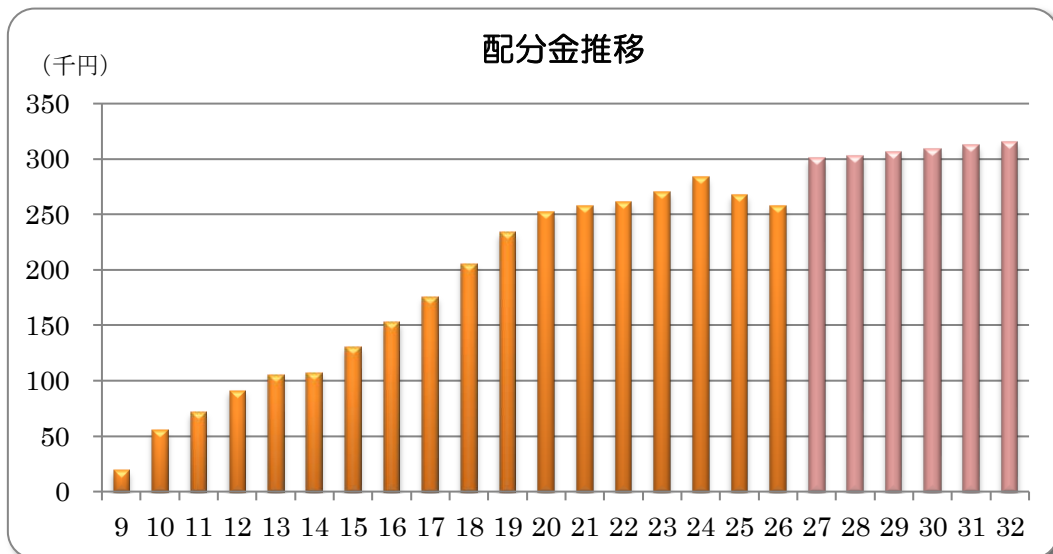
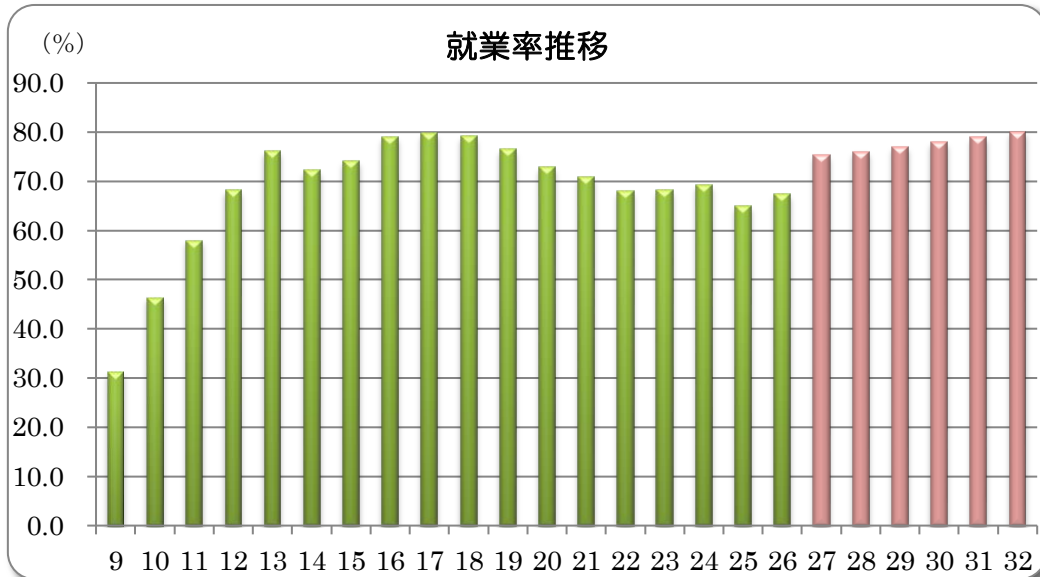
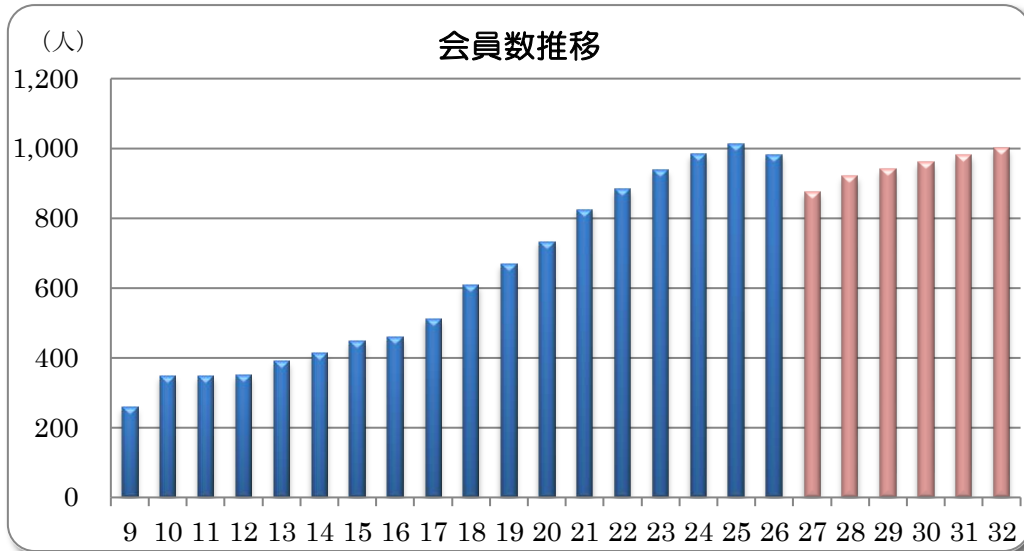
豊かな生活を実現するには、就業はもとより会員同士の交流、親睦や趣味を通じての「仲間づくり」が大切であるため、同好会や親睦旅行を実施しています。

また、センターが地域社会で認められるためにはボランティア活動等での社会参加により、地域に貢献していることのアピールが必要です。

これらの活動に対する参加者を増加することによって組織の強化と活性化を目指す必要があります。

### (2) 基本計画

- ・会員同士のふれあいの場として、同好会活動の充実を支援します。
- ・子ども見守りボランティアや清掃活動などのボランティア活動を積極的に行うとともに、会員がボランティア活動に参加することへの理解を求め、地域社会への参画意識を高めていきます。
- ・地域会員相互の連帯意識の強化等を目的にしている地域班活動の充実を支援します。



(注) 会員数、就業率、配分金とも平成 27 年度以降は、見込み・目標数値

第2次中期基本計画  
(平成28年度～平成32年度)

公益社団法人伊勢原市シルバー人材センター  
平成28年5月